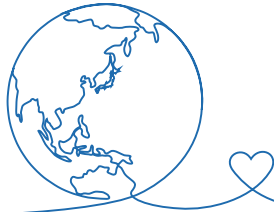


財務情報

財務情報について
詳しくはこちら



2025年度業績サマリー（連結）

料金収入

702億円 前期比 +4.5%

休憩所等事業収益

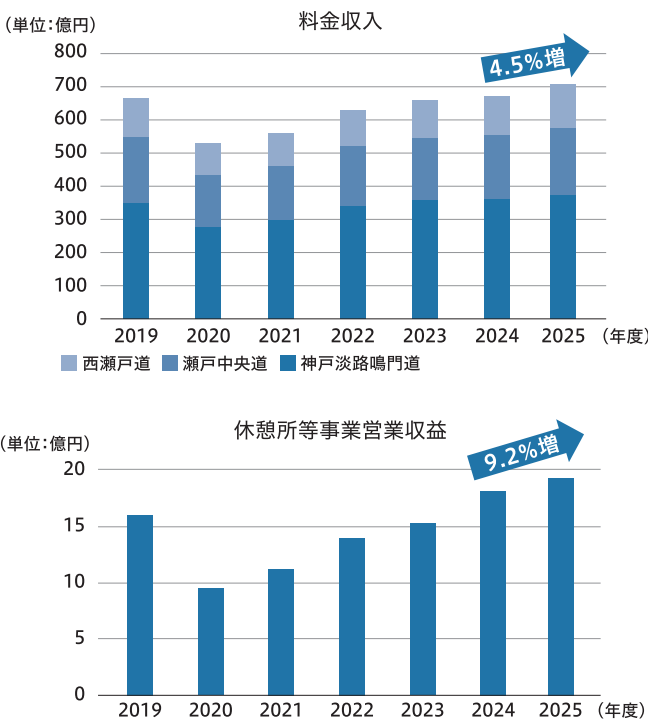
19億円 前期比 +9.2%

当期純利益

1億円 前期比 -81.7%

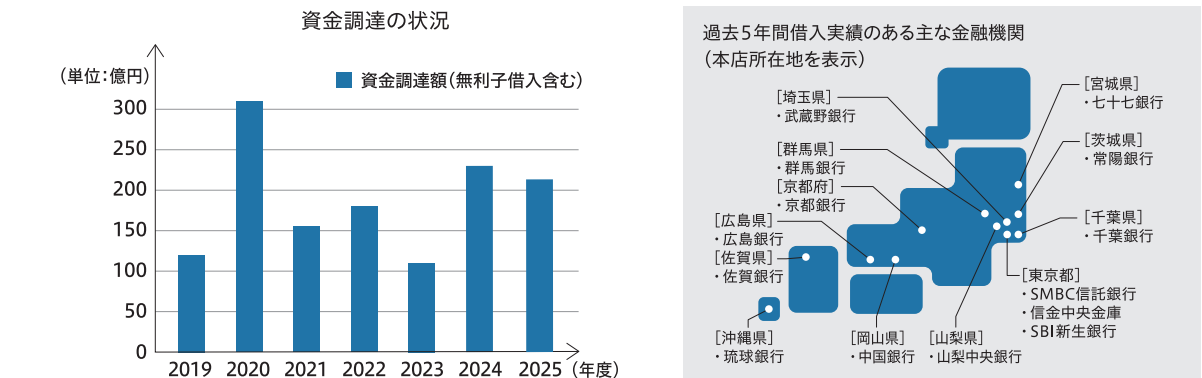
連結決算実績の解説

- 2025年度において、管内の高速道路の通行台数は、過去最高となる4,716万台（前期比3.0%増）を記録し、料金収入も702億円（前期比4.5%増）と堅調に推移しました。
- また、関連事業においても、休憩所等事業の収益が19億円（前期比9.2%増）となりました。
- 当年度の道路資産完成高は、坂出北ICフルインター工事や大鳴門橋伸縮装置更新工事などがあり、203億円となりました。
- 料金収入は増加したものの、労務費や物価の高騰等厳しい経営環境の影響で、グループ全体の当期純利益は1億円となりました。



調達の状況

当社では、高速道路機構へ道路資産と共に引き渡す借入金を毎年100億円以上、シンジケートローン等で調達しています。



安定した資金調達でサステナブルな経営を

事業計画に基づいた計画的かつ安定的な資金調達を継続しており、現時点では、機構資産形成に伴う借入金を除き、その他の借入はありません。

シンジケートローンの導入以降、幅広い信用基盤のもと、健全な財務運営を実現しています。今後も安定した資金調達を維持し、持続可能な企業活動の推進に努めてまいります。

連結P/L

(単位: 億円)

勘定科目	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
営業収益	762	791	807	811	702	703	891	879	809	961
高速道路事業	710	749	748	759	660	667	851	835	763	910
料金収入	642	651	654	666	533	561	632	661	672	702
道路資産完成高	66	94	91	88	123	101	214	171	87	203
その他の売上高	2	2	2	4	3	4	4	3	2	3
関連事業	51	41	58	52	42	36	40	44	46	50
休憩所等事業	16	17	16	16	9	11	14	15	18	19
受託事業等	34	24	41	35	32	25	25	28	28	31
営業費用	751	783	802	803	713	700	889	873	803	962
高速道路事業	706	747	750	758	670	666	852	832	763	918
道路資産賃借料	453	462	463	472	353	376	439	460	469	501
道路資産完成原価	66	94	91	88	123	101	214	171	90	210
管理費用	187	190	195	197	192	188	197	200	202	205
関連事業	44	35	51	45	43	34	37	41	40	44
休憩所等事業	11	12	13	13	12	12	13	13	13	13
受託事業等	33	22	38	32	30	22	23	27	26	30
営業利益(▲損失)	10.8	7.7	4.9	7.8	▲10.6	3.3	1.9	6.5	6.2	▲1.0
高速道路事業	3.7	1.1	▲1.6	0.5	▲9.8	1.3	▲1.1	3.3	▲0.3	▲7.6
関連事業	7.1	6.6	6.6	7.2	▲0.7	2.0	3.0	3.2	6.6	6.6
経常利益(▲損失)	14	10	7	10	▲7	5	4	9	9	3
当期純利益(▲損失)	25	42	4	7	▲9	3	3	8	7	1

*単位未満切り捨て。営業利益は小数点第1位まで表示。



**安定した収益で
充実したサービスを実現**

今後も透明性の高い財務情報を提供するとともに、安全・安心・快適な道路サービスをお客様に提供するため、健全な経営に努めてまいります。

連結B/S

科目集約

(単位：億円)

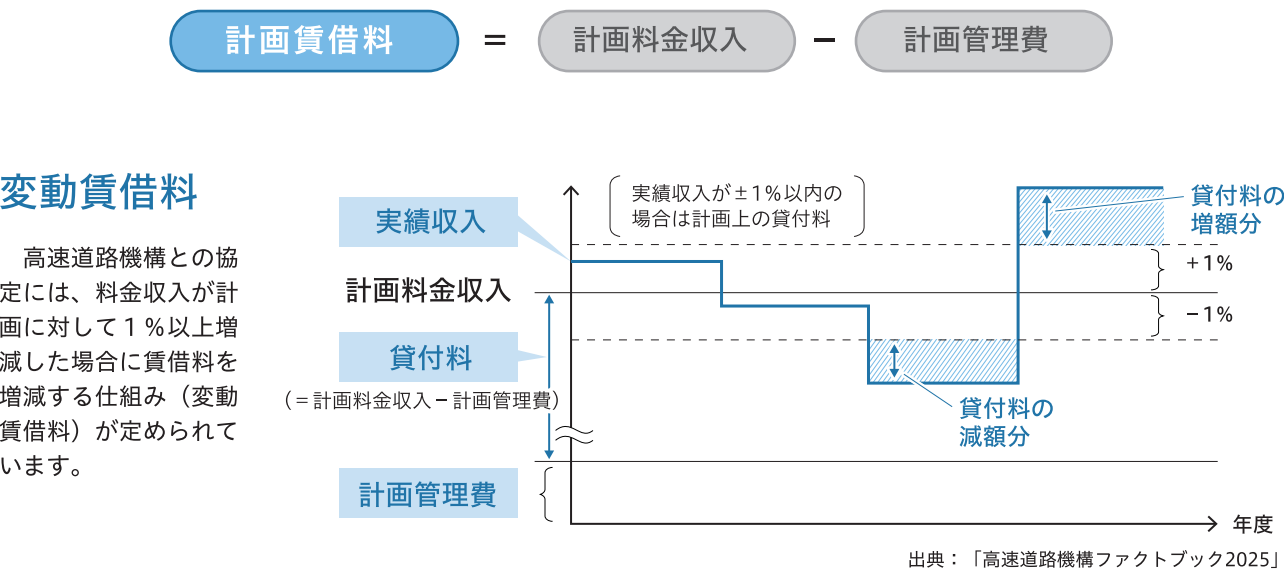
勘定科目	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
資産の部										
流動資産	319	378	379	394	490	571	640	664	657	666
現金及び預金	174	218	151	247	85	190	150	306	218	329
棚卸資産	44	56	64	83	93	149	127	107	174	170
その他	101	104	163	63	311	232	361	250	263	166
固定資産	250	235	249	253	264	248	238	229	233	231
有形固定資産	220	224	238	240	249	233	223	214	215	212
無形固定資産	4	4	5	5	8	7	6	5	5	7
投資その他の資産	25	6	6	7	6	7	7	9	12	11
資産合計	570	613	629	647	754	819	878	894	890	897
負債の部										
流動負債	135	178	157	148	89	110	229	319	182	145
固定負債	250	194	226	247	418	457	391	297	422	445
長期借入金	51	65	98	122	302	348	290	217	348	398
退職給付に係る負債	172	105	105	103	97	95	91	71	66	40
その他	26	24	22	21	18	12	9	8	7	6
負債合計	386	373	383	395	508	567	621	616	604	590
純資産の部										
株主資本	209	252	257	265	255	259	262	271	278	280
資本金	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
資本剰余金	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
利益剰余金	129	172	177	185	175	179	182	191	198	200
退職給付に係る調整累計額	▲24	▲11	▲11	▲13	▲9	▲6	▲5	6	7	26
純資産合計	184	240	245	251	246	252	257	277	285	306
負債・純資産合計	570	613	629	647	754	819	878	894	890	897

*単位未満切り捨て

債務の着実な返済

高速道路の賃借料

賃借料は高速道路機構との協定において、一定の期間で高速道路機構が債務の返済を完了するように設定されています。賃借料と計画管理費の合計は計画料金収入とバランスするように設定されており、各年度の賃借料の計画額は以下のとおり算出します。



債務返済実績の推移

会社から高速道路機構へ支払った賃借料は、高速道路建設に要した債務の返済に充てられています。民営化以降、2026年3月までに当社が高速道路機構に支払った賃借料の累計は約9,800億円です。

